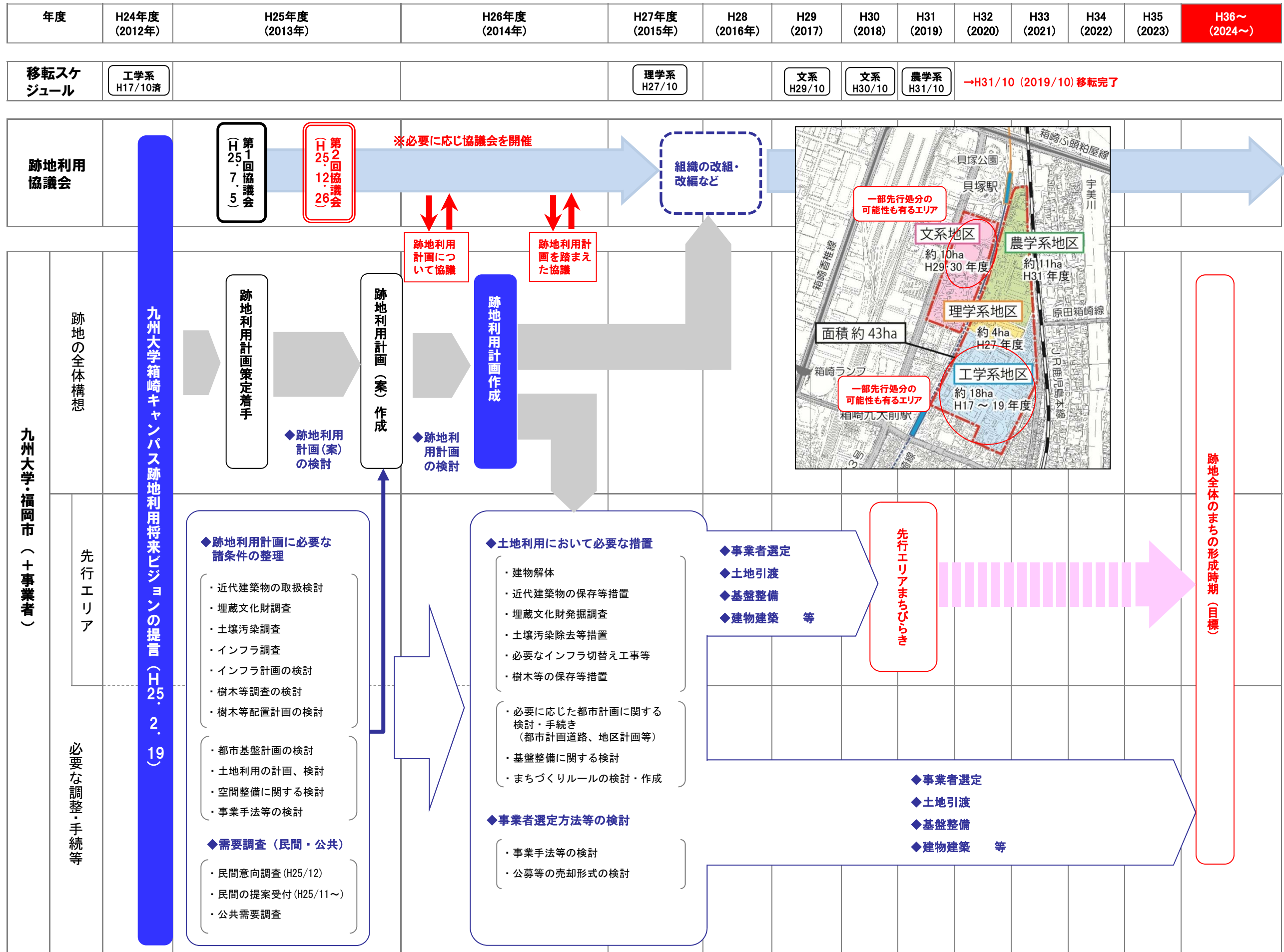


■まちびらきの目標時期（案）

資料 4



まちの形成時期（目標）の福岡市及び箱崎

1. 上位計画での位置づけ

福岡市総合計画 第9次福岡市基本計画より抜粋（目標年次：平成34年）

■めざす姿

- 成長のエンジンである都心部を中心に、拠点の特性に応じて多様な都市機能が集積し、交通基盤のネットワークにより移動の円滑性が確保された「福岡市型のコンパクトな都市」を実現。
- 箱崎地区は都心部と東の広域拠点である香椎・千早地区の間に位置する地域拠点であり、九州大学箱崎キャンパス地区は機能を充実・転換する地区に位置づけられている。

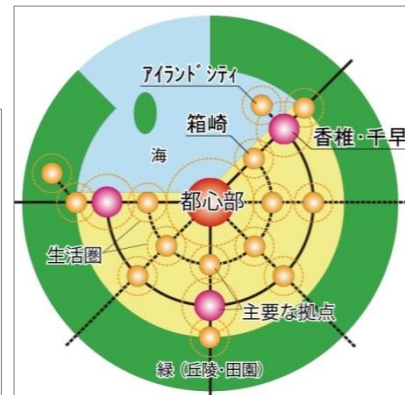


図 福岡市におけるコンパクトな都市の概念
出典：福岡市総合計画 第9次福岡市基本計画

2. 主な都市基盤の状況



- 各拠点（都心部、東部広域拠点、アイランドシティ等）の都市基盤等の整備により、拠点化が進む。
- 鉄軌道、空港、幹線道路等、都市の骨格となる基盤整備が概成。

東部広域拠点 (香椎・千早)	活力創造拠点 (アイランドシティ)	都心部 他
<ul style="list-style-type: none"> 香椎駅周辺土地区画整理 香椎副都心公共施設 3号線博多バイパス 	<ul style="list-style-type: none"> 都市高速道路 新青果市場 こども病院 拠点体育館 	<ul style="list-style-type: none"> 地下鉄七隈線延伸 福岡空港平行誘導路 セントラルパーク構想等

3. 人口推移

(1)福岡市、東区の人口

- 福岡市の人口は平成47(2035)年まで増加。
→約160万人に達しピークを迎える
- 東区の人口は7区の中で最も増加。

- 生産年齢の割合が低下し、高齢化が一層進む。
- 高齢者の単独世帯数が増加する。
- 外国人人口が多く、人口に占める割合も高い。

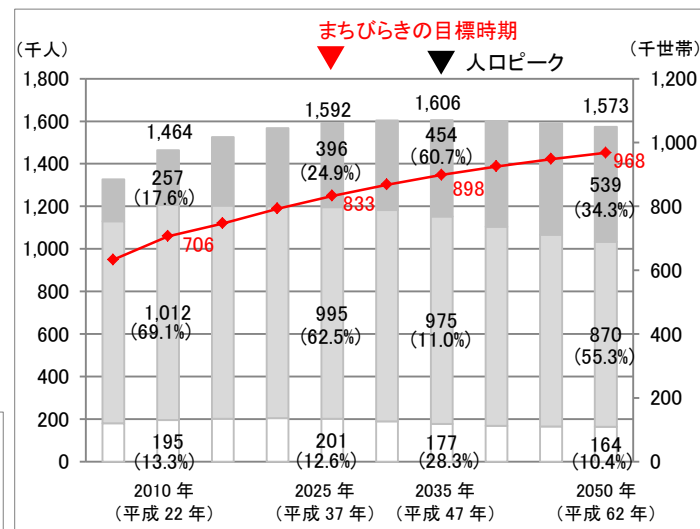
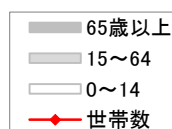


図 福岡市将来推計人口、世帯数 (平成17年～62年)
出典：福岡市の将来人口推計（基礎資料）-福岡市総務企画局

(2)箱崎（周辺4校区）の人口

○平成22(2010)年から32年(2022)までの10年間で約7千人増加。

- 全市・東区に比べ、25～34歳の比率が高い。
- 全市・東区に比べ、緩やかに高齢化が進行する。

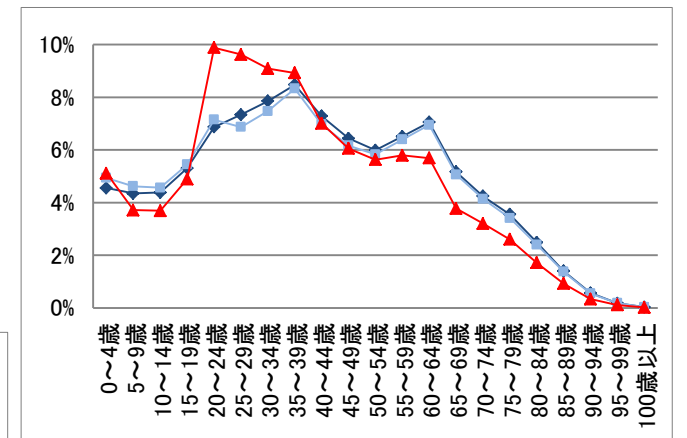
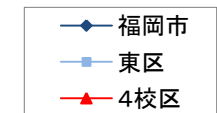


図 年齢（5歳階級）別人口割合（平成22年）
出典：国勢調査

■まちの形成時期(目標)を見据えた、まちづくりの方針について

○都市機能の集約による拠点化の進展

- 都心部をはじめ、東部広域拠点、アイランドシティ地区では、都市基盤整備や公共施設整備により、今後さらなる拠点化が進展する。

→箱崎キャンパス跡地においても、地区の特性に応じた拠点化（都市機能の充実）が求められる。

→上記実現のため特に必要な機能、環境

■成長・活力・交流（まちづくりの方針1）

「新たな産業・雇用の創出」、「交流と賑わいの創出」、「立地特性を生かした広域連携拠点づくり」

■教育・研究（まちづくりの方針2）

「新たな教育研究機関の導入」、「外国人・研究者の受け入れ環境の活用」

○だれもが安心して暮らせる環境づくり

- 箱崎地区では、全市、東区に比べると緩やかだが着実に高齢化が進んでいく。

- 一方で、若年層の割合が高く、跡地利用の進展に伴い、一定の住居の立地も考えられることから、今後も子育て世代の割合が多い年齢構成が続いていくと想定される。

→高齢者や子育て世代、成長していく子どもなど、あらゆる世代が安全・安心・快適で健やかに暮らせるまちづくりが求められる。

→上記実現のため特に必要な機能、環境

■安全・安心・健やか（まちづくりの方針3）

「防災活動の場の創出」、「医療・福祉・健康づくり環境の充実」、「快適な居住環境の創出」、「地域コミュニティの充実」、「子どもが安心して学び、遊べる場の創出」

※跡地利用将来ビジョンより
<まちづくりの方針のキーワード>



まちづくりの方針

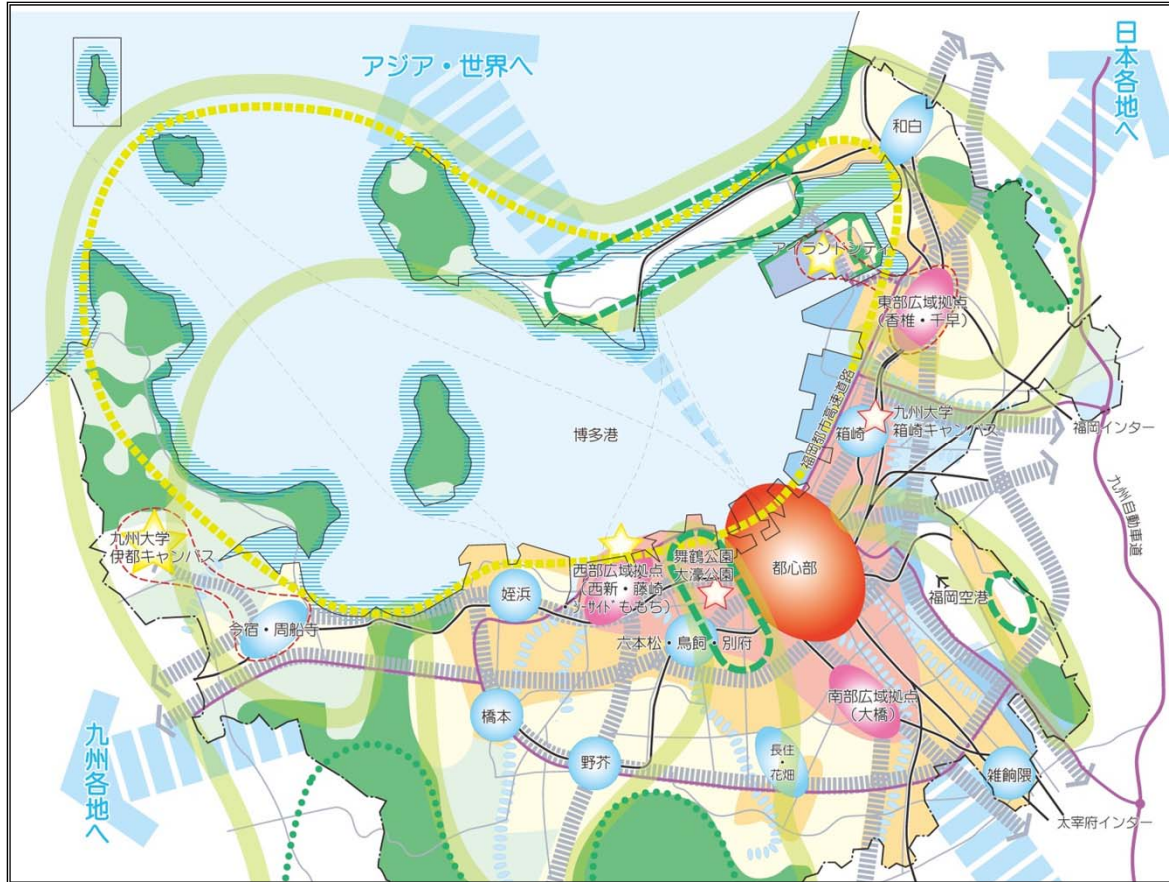
- 福岡市の持続的な成長に資する
新たな活力・交流を生み出す
- 九州大学が存在した地として、
充実した教育・研究の環境を生みだし、人を育てる
- 高度医療施設の立地や高い利便性を生かして、
安全・安心・快適で健やかに暮らす
- 千年のまち、大学百年の
歴史文化資源を大切に
- 次世代の環境技術と豊かな緑を生かして
環境と共生し、持続可能なまちをつくる

<跡地利用にあたって踏まえるべき視点>

まちの形成時期(目標)の福岡市及び箱崎

市上位計画【目標年次平成34年度】

第9次福岡市基本計画



福岡市総合計画 第9次福岡市基本計画 第2章 計画各論

「2 空間構成目標 (2)めざす姿」より抜粋

①箱崎地区

・**地域拠点**: 区やそれに準ずる生活圏域の中心として、日常生活に必要な商業機能やサービス機能など諸機能が集積した地区

※その他の地域拠点: 和白、雑餉隈、六本松・鳥飼・別府、長住・花畑、野芥、姪浜、橋本、今宿・周船寺

②九州大学箱崎キャンパス地区

・**機能を充実・転換する地区**: 九州大学箱崎キャンパス地区は市街地内の貴重な大規模活用可能地として、大学の移転進捗を踏まえ、新たな都市機能の導入などを検討する地区

※その他の機能を充実・転換する地区: 舞鶴公園・大濠公園地区

「3 区のみちづくりの目標 東区」より抜粋

○歴史・文化、自然の魅力を生かし、新しい可能性を生み出すまち

・東区のシンボルとなる行事や歴史・文化的な資産の魅力を活かし、海・川・山の水辺や緑などの自然環境を守り、これらの地域の魅力、特色を生かしたまちづくりを進めます。

・また、九州大学の移転に伴う箱崎キャンパス跡地は、将来の都市活力の一端を担うポテンシャルを有しており、既存施設の活用、土地利用の転換による新たな都市機能の導入などの検討を進めます。

都市計画マスタープラン(改訂原案) H25.11



拠点・ゾーン・軸	まちの将来像	まちづくりの視点
地域拠点 	《箱崎》交通の利便性が高く、界限性を持った区の拠点	・業務・商業機能の適正な誘導 ・交通結節機能の強化 ・駐車場や駐輪場などの確保 ・地域拠点にふさわしい景観の誘導
機能を充実・転換する地区 	大学の移転進捗を踏まえ、市街地内の貴重な活用可能地として、地域への貢献や新たな機能の導入などを検討する地区	跡地活用検討ゾーン (九州大学箱崎キャンパス) ・長期的な視点での跡地活用の検討 ・まち全体の一体感の創出・地域拠点との連携強化 ・鉄道駅との連携 ・歴史文化資源や樹木などの利活用

まちの形成時期(目標)の福岡市及び箱崎

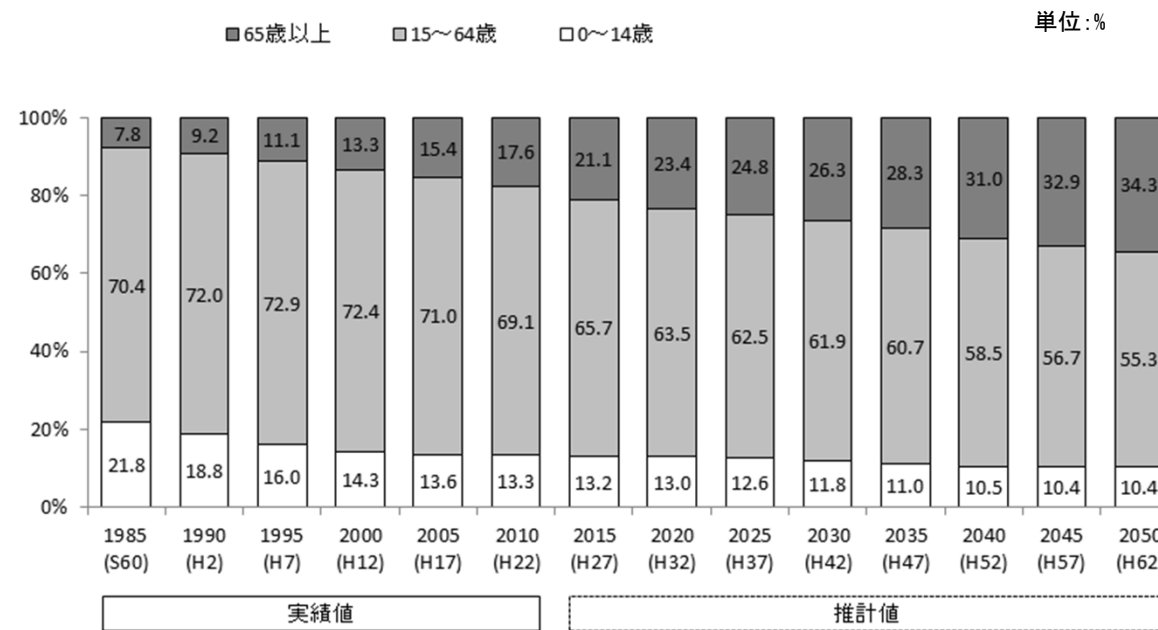
○福岡市の将来推計人口(H62年まで5年刻み)



(注) 1. 1985~2010年は実績値。2015~2050年は将来推計値
 2. 図中、年齢不詳人口の数値は記載を省いている
 資料: 総務省「国勢調査」

出典: 福岡市の将来人口推計(基礎資料)-福岡市総務企画局

将来推計人口における年齢階層の構成変化



(注) 実績値の構成を算出するにあたっては、総数から年齢不詳を除外している。
 資料: 実績値…国勢調査

出典: 福岡市の将来人口推計(基礎資料)-福岡市総務企画局

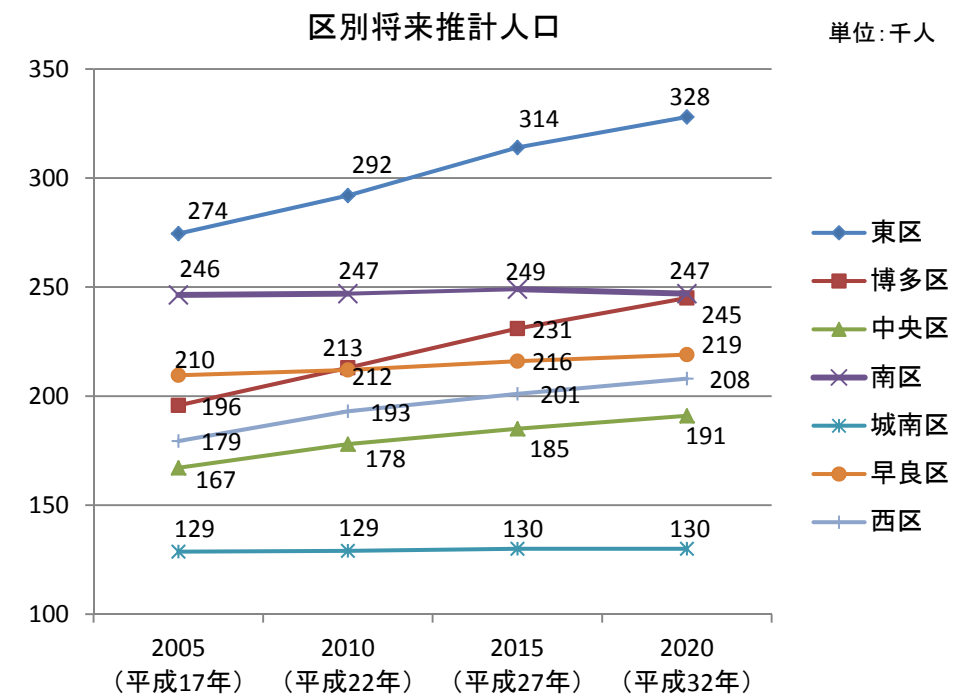
○区別人口(H22年)

区別人口(外国人人口)

	平成22年国勢調査			面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
	人口総数 (人)	外国人人口 (人)	外国人割合 (%)		
福岡市 東区	292,199	5,896	2.0%	67.98	4,298
福岡市 博多区	212,527	2,968	1.4%	31.47	6,753
福岡市 中央区	178,429	2,159	1.2%	15.16	11,770
福岡市 南区	247,096	2,610	1.1%	30.98	7,976
福岡市 城南区	128,659	841	0.7%	16.02	8,031
福岡市 早良区	211,553	1,464	0.7%	95.88	2,206
福岡市 西区	193,280	1,387	0.7%	83.83	2,306
計	1,463,743	17,325	1.2%	341.32	4,288

出典: 九州大学箱崎キャンパス跡地利用将来ビジョン(参考資料)

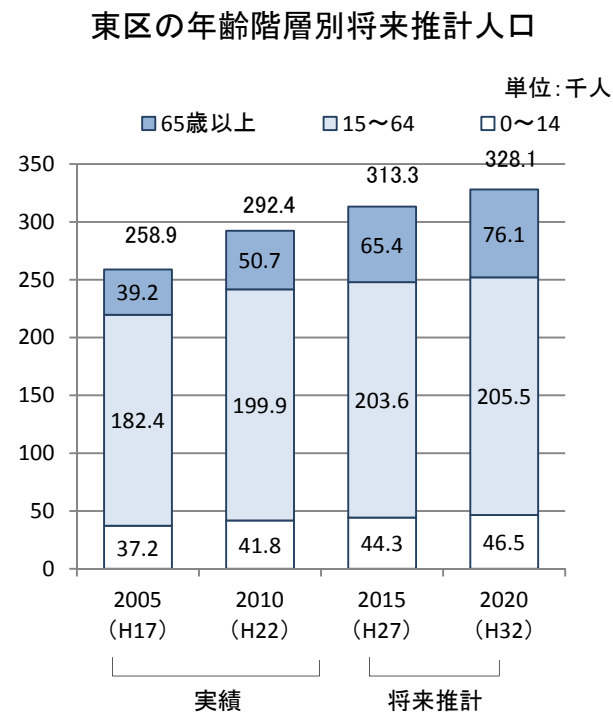
○東区の将来推計人口(H32年まで5年刻み)



出典: 福岡市の将来人口推計(基礎資料)-福岡市総務企画局

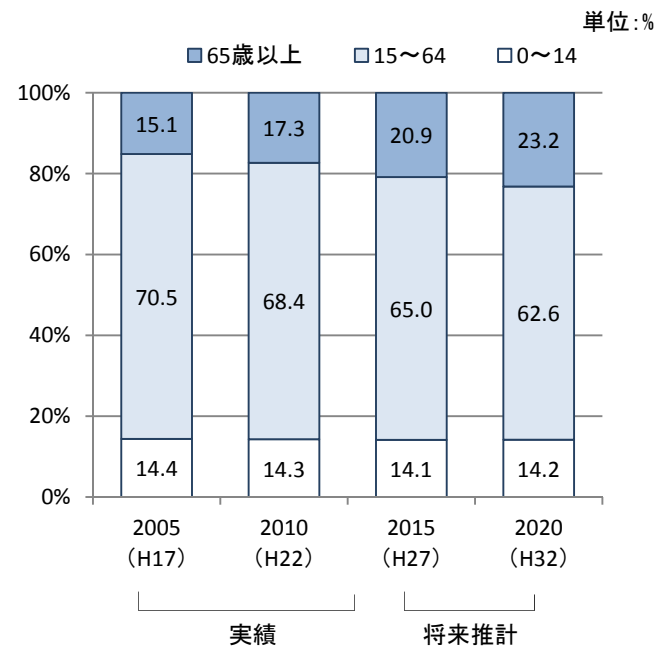
まちの形成時期(目標)の福岡市及び箱崎

○東区の将来推計人口(H32年まで5年刻み)



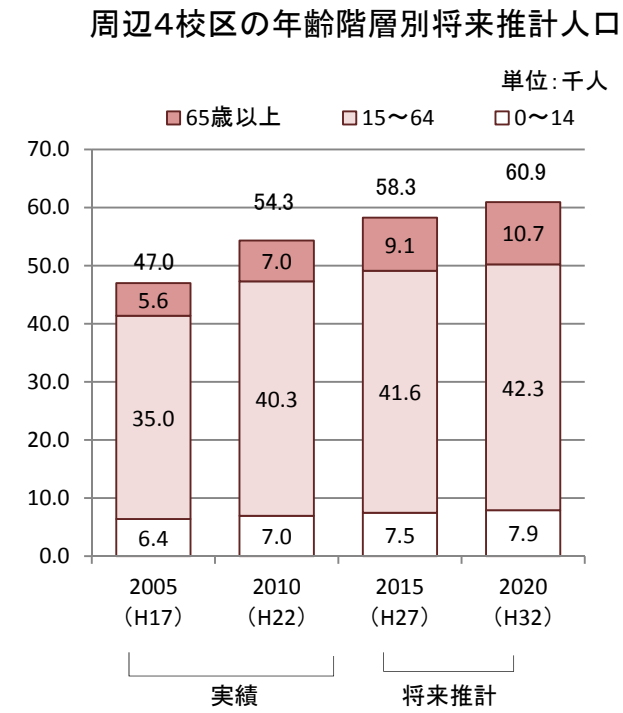
出典:平成17年、22年国勢調査
福岡市の将来人口推計(基礎資料)-福岡市総務企画局

将来推計人口における年齢階層の構成変化



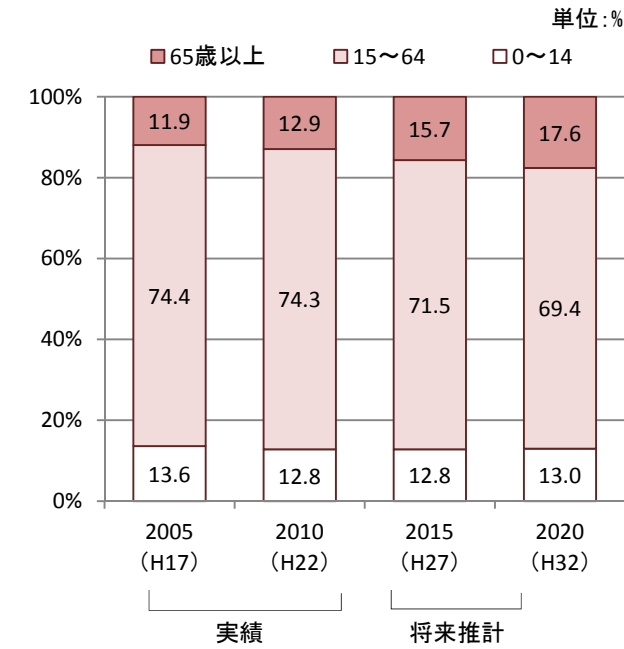
出典:平成17年、22年国勢調査
福岡市の将来人口推計(基礎資料)-福岡市総務企画局

○周辺4校区の将来推計人口(H32年まで5年刻み)



出典:平成17年、平成22年国勢調査
福岡市の将来人口推計(基礎資料)-福岡市総務企画局

将来推計人口における年齢階層の構成変化

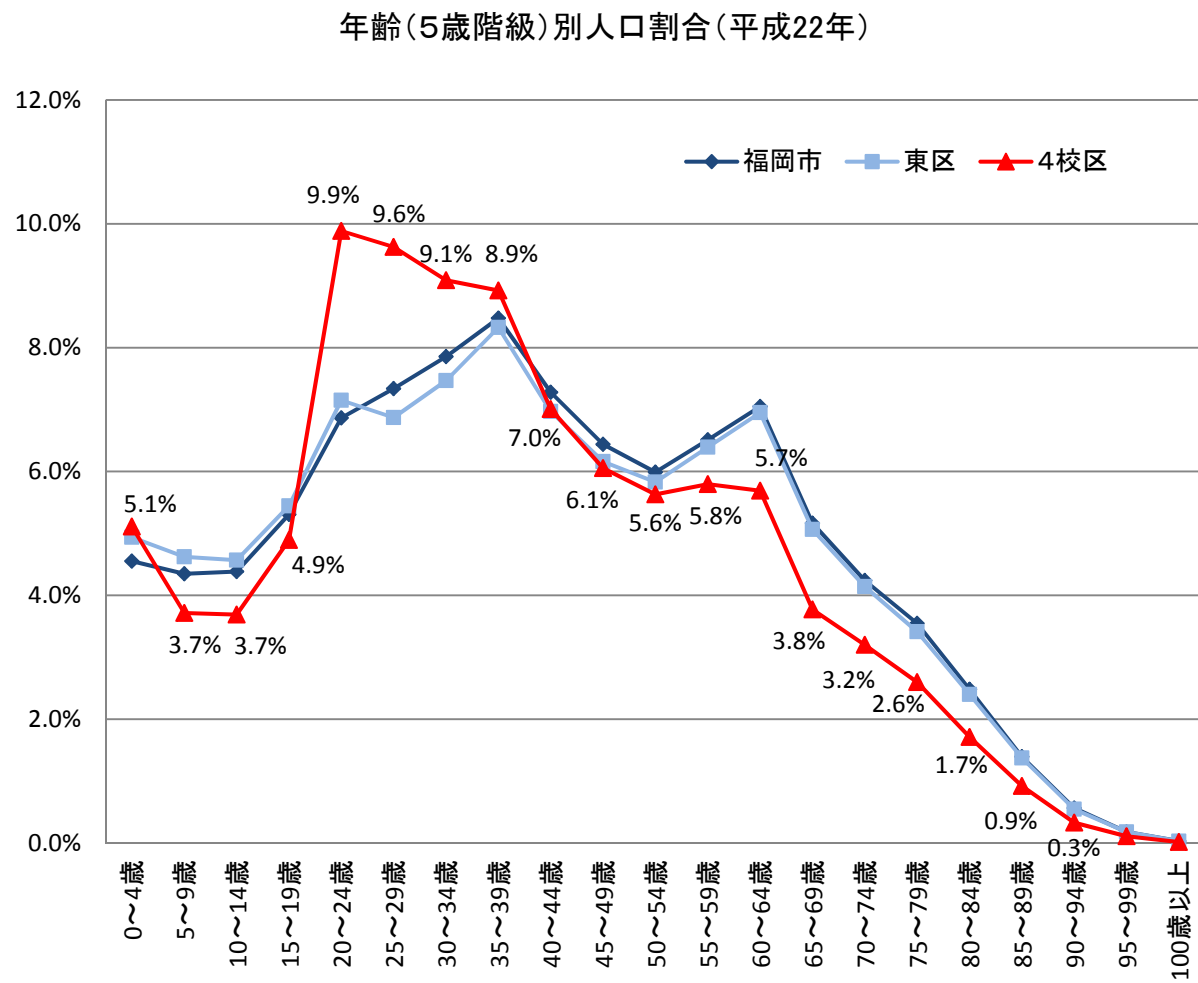


出典:平成17年、22年国勢調査
福岡市の将来人口推計(基礎資料)-福岡市総務企画局

※周辺4校区の将来人口は、平成22年人口をベースに、東区の推計値を参考に算出

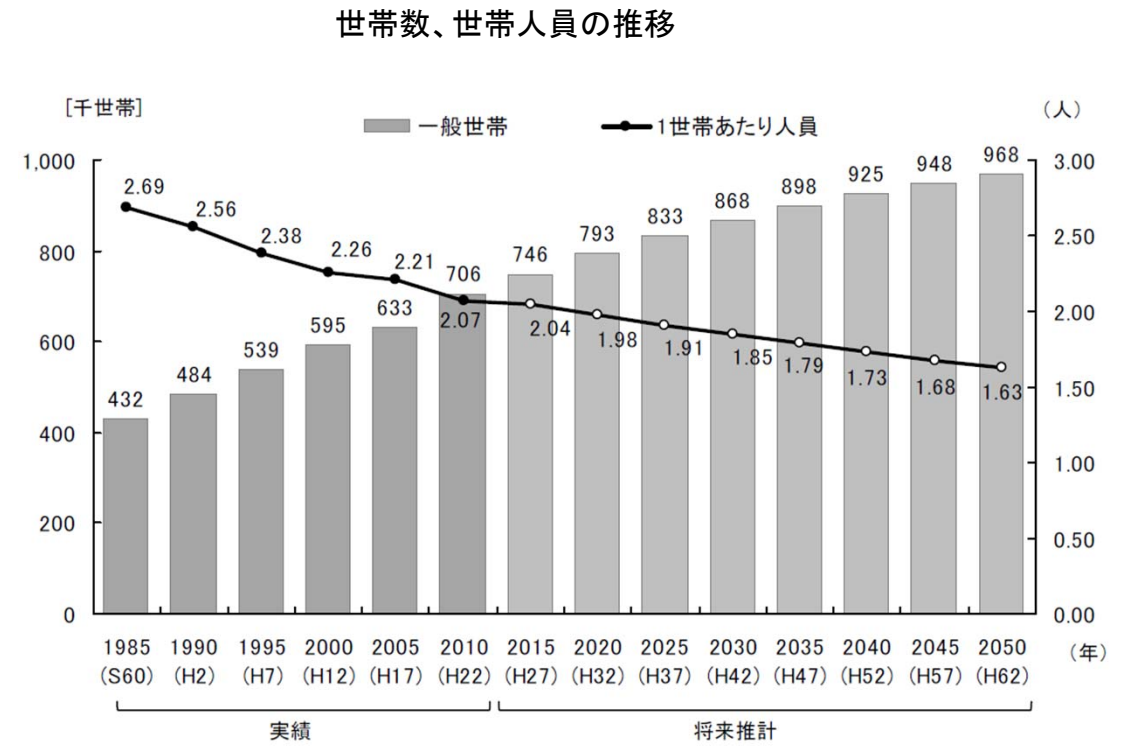
まちの形成時期(目標)の福岡市及び箱崎

○福岡市、東区、周辺4校区の年齢別人口割合(H22年)



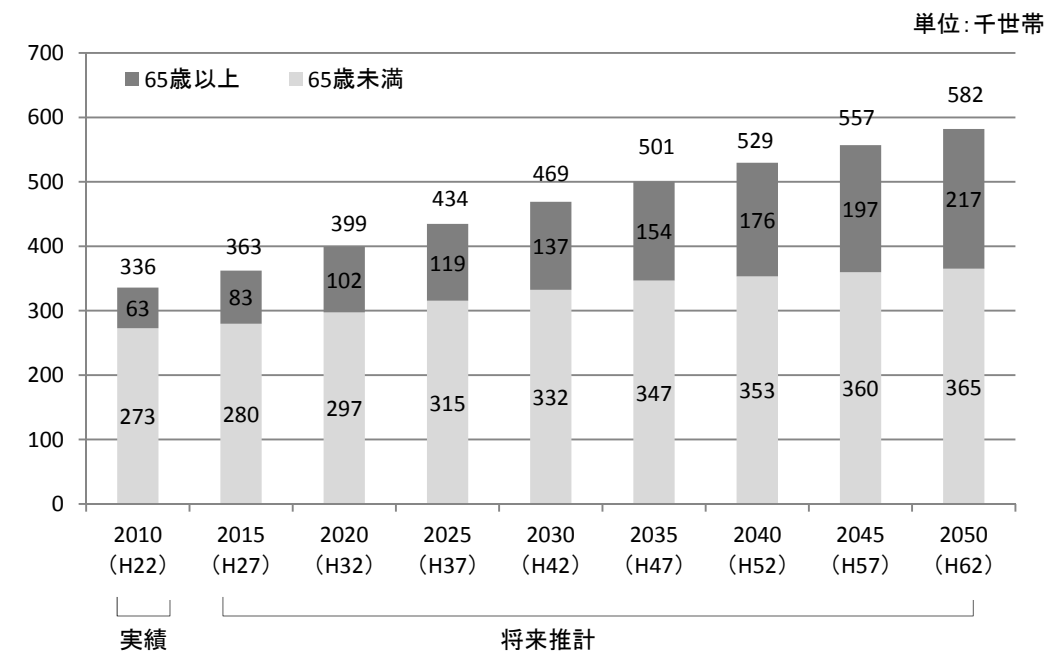
出典:平成22年国勢調査

○福岡市の将来推計世帯数(H62年まで5年刻み)



出典:福岡市の将来人口推計(基礎資料)-福岡市総務企画局

2人以上世帯数と単独世帯数の推移



出典:福岡市の将来人口推計(基礎資料)-福岡市総務企画局